

平成 24. 6. 18

梅雨晴れ 元気な歩み

12 SUN-IN 未来
未 未 ウ オ ー フ
선한 미래와 함께

「第12回SUN-IN未来ウォーク」(NPO法人未来、新日本海新聞社など主催)の最終日は17日、倉吉市駄経寺町の倉吉パークスクエアを発着点とする5コースで繰り広げられた。合わせて1373人が参加。梅雨晴れの中、倉吉市の歴史を感じる町並みや旧国鉄廃線跡、北栄町のコナン通りなどを元気に歩いた。

同市関金町を巡る30キロコースには、健脚自慢が大勢参加。往路では、大山や蒜山を遠望し、関金温泉街や旧国鉄倉吉線跡、大山池などの景観を楽しみながら力強く歩を進めた。同倉吉線跡で鉄路が残り、竹林がトンネル状になって趣ある風情を醸し出している場所

では、仲間同士で記念撮影する姿が見られ、大阪から参加した60代の夫婦は「この風気持ちがいい。楽しく景を見たくて参加しました。きょうは蒸し暑いですが、ここは竹林を抜ける風が涼しくて、ウォーカーが参加した。」と話していた。

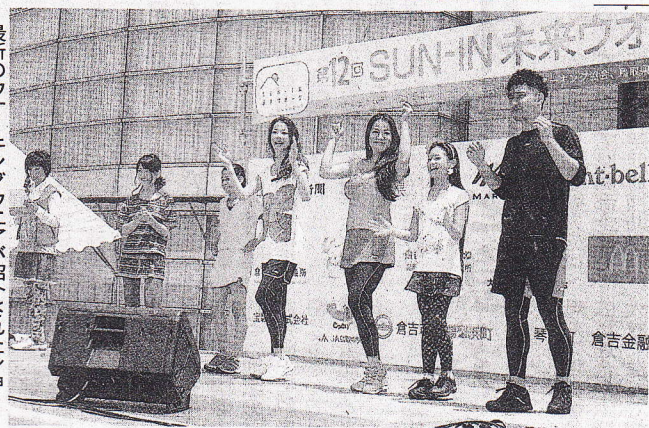
カラフルで機能的

モデルら最新ウェア紹介

「発着点の倉吉パークスクエアふれあい広場特設ステージでは「ウォーキングファッション&トークショー」があり、ウォーカーたちが最新のウォーキングウェアを見入った。ファッションショー



日国鉄倉吉線跡の「竹林トンネル」を歩く参加者。17日、倉吉市関金町



最新のウォーキングウェアが紹介されたショー。17日、倉吉市駄経寺町の倉吉パークスクエア

た。

同ウォークは、県中部1市3町の「美しい日本の歩きたくなるみち500選」などに指定されている10コースで2日間わたって開かれた。全国各地や韓国から延べ28600人のウォーカーが参加した。

表彰

ランカー表彰
93歳のベテランウォーカー
公式大会機に新設
パークスクエア



表彰を受けて笑顔であいさつする因さん。17日、倉吉市駄経寺町の倉吉パークスクエア

○…ことは、90歳(93)に鳥取県から記念品などが贈られた。日本マーチングリーグの公式大会となった

お礼

「第12回SUN-IN未来ウォーク」は16、17の両日、全国からウォーカー12860人、地元ボランティア延べ約5000人が参加して盛況のうちに終了しました。

大会開催に当たり、ご協力いただきました各自治体、団体・企業の皆さまに心より感謝いたします。

また、大会の円滑な運営にご協力いただいた各団体とボランティア、会場周辺や沿道の住民の皆さまにお礼申し上げます。

主催

NPO法人未来
日本ウォーキング協会
鳥取県ウォーキング協会
鳥取県中部医師会
全日本ノルディックウォーク連盟鳥取県支部
新日本海新聞社

のを機に表彰制度が創設され、因さんが第1号表彰者となった。

因さんは、ウォーキング歴30年以上で、国内各地はもとろん、世界37カ所のウォーク大会に参加。昨年12月から足を痛めて休んでいたが、復帰後のウォークに今大会を選んだ。

県中部総合事務所の宮本京子所長から表彰を受けた因さんは「足をきちんと治して来年も参加したい」と笑顔を見せていた。